

くらしサポートセンター 守口ニューズ

vol.17

2018年2月

発行：くらしサポート
センター守口

〒570-0083
守口市京阪本通2丁目1-5
京阪川口ビル4階

フリーダイヤル
0800-200-8011

TEL：06-6998-4510
FAX：06-6998-4512

「くらしサポートセンター守口」 事務所移転のお知らせ

平成30年
4月2日

▲くらしサポの新しいチラシ

『くらしサポートセンター守口』が開設されて3年がたちました。住みなれた地域で安心して生活できるように、市民のみなさんの不安や心配ごとに相談員が寄り添い、一緒に考え、解決のお手伝いをしています。

「就職しても長続きしない」「生活費に困っている」「誰も頼る人がなく、孤立している」「人とのコミュニケーションが苦手で働けない」「成人した子供が引きこもっていて将来が不安」など様々な問題を解決するため、生活自立相談支援窓口、住居確保給付金申請窓口、就労準備支援窓口などを設置。またふーどばんくOSAKAと連携し、一人ひとりの相談状況に対して支援をおこなっています。

4月2日(月)には守口市役所に移転し、ますます使いやすくなる『くらしサポートセンター守口』。ひとりで悩まず、まずは一度ご相談下さい。

くらしサポートセンター守口併設

『守口市無料職業紹介所』

- ・就職活動の進め方に迷っている
 - ・どんな仕事に向いているのかわからない
 - ・頑張っても応募してもなかなか決まらない
- こんな方はぜひ求職登録してください。

- ◆ ハローワーク求人端末機による仕事の検索
- ◆ 守口市内の貼り紙求人や求人情報誌、求人広告の情報提供
- ◆ 履歴書・職務経歴書の書き方
- ◆ 面接トレーニング(予約制)
- ◆ 履歴書写真撮影
- ◆ コミュニケーショントレーニング(予約制)
- ◆ 職業能力適正検査(予約制)
- ◆ 職場体験(必要に応じて)
- ◆ 個別求人開拓(必要に応じて)

裏面には「くらしサポセミナー」卒業生の感想文を掲載しています。今回は職業能力適正検査(GATB)を受けたことがきっかけで、見えにくかったハンディキャップが明らかになり、理解ある支援者に囲まれてはじめての一步を踏み出した記録です。

就労準備支援 「くらしサポセミナー」開催中



▲メインメニューはシチュー。サラダのいりも鮮やかでレストランでの食事のよう。



▲ティラミス、クッキー、パンケーキ。お味もばっちり。

『くらしサポセミナー』では一般就労の前段階としての基礎能力形成のための支援を行います(利用するには一定の要件があります)。

生活に不安を抱える方や仕事に就く自信のない方、人間関係が得意でない方などを対象に、それぞれの課題に応じた段階的なプログラムを提供。

自己理解を深めるための仕事興味チェック、パソコンの基礎講座、採用面接対策、損しない働き方や、コミュニケーション能力をつけるための秘訣など様々なメニューを用意しています。

また他にも創作活動、調理実習、ヨガなど、グループで「やってみてほしい」を実現する活動などを行なっています。

昨年のクリスマスには市役所地下にあるコミュニティセンター調理室でお食事を開催。前日から参加メンバーが集まりメニューや役割分担を決め、買い物などの準備をおこないました。

はじめの第一歩を
応援します！

くらしポセセミナー(就労準備支援) 卒業生の感想

「職業能力適性検査から始まった自己理解」 (30代後半男性)

私は高校を卒業後、推薦入学が叶って美術短大で学びました。しかし絵で食べていくには厳しく、好きなことを活かしながら就労に結びつくようにと、さらにデザイン専門学校でWEBデザインを学びました。しかし求められるIT知識レベルには届かず、自分に合う仕事を探してデザイン系業務、接客業、介護職、ピッキングなどの作業系業務、配送業など様々な職種にチャレンジしました。

壁を感じ、しんどくて続けられなかったり、会社から契約更新が得られなかったりして、いずれも数か月で退職することになってしまい、だんだん退職から次の応募まで時間がかかるようになって、36歳、失業一年という状態で「くらしサポートセンター守口」に出会いました。

その頃私は、経験的に自分ができないことと苦手なことをかなり理解することができていました。

出荷量や商品番号など数字を取り扱ったり覚えること、運転が好きでも時間の制約の中で、毎日違う道を通って違うところに行くこと、一度に複数の指示をされると抜けが生じることなどです。



▲就労への道づくりとして「くらしサポートセンター守口」では職業能力適性検査 GATB を行なっています。その結果、支援内容が具体的になり、また相談者の目標も明確になります。

「くらしサポートセンター守口」では、職務経歴書のアピールポイントを整理し、できるだけ苦しいことが含まれない業務内容を探して応募活動を支援してもらい、倉庫管理業務に採用されました。

同時に、勧められて受けた職業能力適性検査(GATB)の結果で、自分の苦手はハンディとして認められる可能性のあるもので、医療受診した結果によっては就労や年金の面で支援が得られることがわかりました。

私の場合、言語操作能力は平均以上あり、人懐こい性格もあって、面接などコミュニケーションシーン場面ではうまくいくしハンディも見えにくいけれど、仕事の現場では力不足で苦しい状況に追い込まれがちであるという説明はフィットするものでした。

その後、医療受診してその心理検査の結果を踏まえ療育手帳の申請をしました。

そこで勧められたのは、ハローワーク専門援助部門を通じて障害者職業センターで職業評価を受けることでした。

できることとできないことのアンバランスがあってピッタリする職場をみつけにくい私に、JOBコーチという役割の人が職場の職務内容と私の能力とが合致するように調整してくれる仕組みがあり、そのために私の能力をアセスメントしてもらったのです。

その職業評価の結果、私は今、障害者職業センターの就労準備プログラムに毎日通っています。

私はついこの間まで自分がハンディを持っているという自覚がなかった訳で、自分の障害を自分がしっかり理解し、職場で適切にかつ自分も苦しくない言動を学んでいくことが目標です。

職場の雰囲気に近い環境で数字の取り扱い業務をおこない、電卓を使って対処する場面も実習しました。

今後、障害者職業センターのJOBコーチ、ハローワーク専門援助部門の方、「くらしサポートセンター守口」のスタッフと相談しながら、私の新しい職業生活を迎えたいと思います。

お問い合わせは「くらしサポートセンター守口」まで

フリーダイヤル：0800-2000-8011

電話：06-6998-4510

住所：守口市京阪本通2丁目1-5京阪川口ビル4階

就労準備支援事業に関する詳しい情報は↓

<http://yarukimitekure.com/moriguchi/information/>